

令和6年11月5日

倉敷市長 伊 東 香 織 へ

団体名 NPO 法人移動サポートセンターかわせみ

代表者 職名 理事長 氏名 川瀬 道治

倉敷市市民企画提案事業申込書

倉敷市市民企画提案事業実施要綱第9条第1項の規定により、関係書類を添えて申し込みます。

記

- 1 コース 自主事業部門・新規チャレンジコース
- 2 事業名 住民主体の移動サービス立ち上げ支援事業
- 3 交付申請額 金 122千円 (千円未満切り捨て)
- 4 実施期間 令和 7年 4月 1日 から 令和 8年 3月 31日 まで
- 5 承諾事項

次のア、イについて承諾します。

ア 毎月、市が指定するブログに活動状況を投稿すること

イ 市が開催するワークショップ等に参加すること

事業計画書

事業名	住民主体の移動サービス立ち上げ支援事業
団体名	NPO 法人移動サポートセンターかわせみ

1 目指す姿

事業を通じて目指す姿や、事業を実施する目的はどのようなものですか。「地域や社会、人のどんな問題を解決し、どのような状態にしたいのか」を具体的に記入してください。

住民同士の支え合いにより、移動困難者を生まない社会になることを目指す。今後5年以内に、住民主体の移動サービスを行う自治会等が、倉敷、児島、玉島、水島、真備、船穂でそれぞれ1つ以上活動を開始しているようにしたい。

※移動困難者とは、高齢や障がいを理由に移動に困難を伴う人、公共交通機関を利用するのが困難な人をいう。

2 現状

上記1の目指す姿と比べて、現在はどのような状況にありますか。

- ・高齢や障がいを理由に自分で車を運転できなくなるにより、食品等の買い物や病院の通院等、生活を維持する最低限の移動手段を失ってしまう人が急増している。
- ・倉敷市内で住民主体の移動サービスを開始している自治会等は、数箇所あるにとどまっている。

3 目指す姿と現状の隔たりの要因

上記1と2の隔たりを生み出している主な原因はどのようなものと考えますか。

- ・利用者の減少により、バス路線が徐々に廃止されてきたため。
- ・タクシーは料金が高く、日常的に利用しづらいため。
- ・若い世代の地域外への流出により、若い世代の支援が受けにくくなっているため。
- ・地域密着のスーパーの撤退や小売店の廃業により、徒歩や自転車圏内で買い物ができなくなっているため。
- ・住民主体の移動サービスという選択肢があることを知らないため。

4 計画の概要と対象者

上記3で挙げた要因を取り除くため、どのような人を対象に、どのような活動を実施しますか。150字以内で簡潔にまとめてください（計画の詳細は下記5に記入してください）。

住民主体の移動サービスの立ち上げを支援するために、次の3つに取り組む。①講演会の開催、②3つの自治会等で移動サービスの仕組みや立ち上げ方の出前講座の開催、③運行の実態を肌で感じてもらうための試験運行の実施。

5 計画の詳細

(1) 具体的な内容

※内容、対象者、実施期間、実施場所、ねらいなど、できるだけ明確に記入してください。

1 講演会

住民主体の移動サービスに関心がある人を対象に、ライフパーク倉敷（予定）で講演会を実施する。増え続ける移動困難者に対し、やる気さえあれば、地域で支援できる方法があることを伝える。

2 出前講座

- 3つの自治会等の住民を対象に、出前講座を計9回（1箇所あたり3回）開催する。
- (1) 全国の実施事例の紹介…住民主体で事業を立ち上げ、運行を継続している全国の実施事例を紹介する。住民が具体的なイメージを描けることをねらう。
 - (2) 道路運送法の説明…最低限押さえねばならない法の仕組みや最新情報を説明する。法の範囲内であれば、認可を受けなくても実施できることを知ってもらう。

3 試験運行

- 3つの自治会等の住民と地域の移動困難者を対象に、当団体が、実際に移動サービスを計9ヶ月（1箇所あたり3回）運行する。
- (1) 住民への効果…住民が移動サービスの管理・運営について、実際に見ることで具体的なイメージを描けることをねらう。
 - (2) 移動困難者への効果…住民主体の移動サービスの利便性や運転手とのふれあいを実感してもらう。

(2) スケジュール (準備～実施～報告)

5月	A自治会	出前講座1回目、試験運行
6月	A自治会	出前講座2回目、試験運行
7月	A自治会	出前講座3回目、試験運行
8月	B町内会	出前講座1回目、試験運行
9月	B町内会	出前講座2回目、試験運行 講演会 (会場: ライフパーク倉敷)
10月	B町内会	出前講座3回目、試験運行
11月	C自治会	出前講座1回目、試験運行
12月	C自治会	出前講座2回目、試験運行
1月	C自治会	出前講座3回目、試験運行

(3) 実施体制

上記(1)の計画を実施するにあたり、実際に取り組む団体会員を記入してください。

氏名	事業に有効な資格や経験
川瀬 道治	福祉有償運送の実施歴9年
〇〇 〇〇	福祉有償運送の実施歴〇年
〇〇 〇〇	福祉有償運送の実施歴〇年
〇〇 〇〇	
〇〇 〇〇	
〇〇 〇〇	
10名を超える場合は、外〇〇名としてください⇒	外()名

収支予算書

1 収入の部

科目	内訳	金額(円)※2	積算根拠
受益者負担		80,000	ガソリン代実費+講演会参加費
会費からの繰入		33,000	
その他		0	
市補助金		122,000	
収入合計		235,000	(支出合計と一致)

2 支出の部

科目	内訳	金額(円)※2	積算根拠
人件費(会員)※1		0	
交通費(会員)※1		0	
人件費(アルバイト等)		0	
謝金(講師等)	講演会講師料	30,000	
旅費交通費(講師等)	新幹線代	20,000	
消耗品費	用紙	10,000	A4:300円×16冊, A3:900円×5冊
	インク	13,000	6,500円×2個
印刷製本費	コピー代	19,000	
通信運搬費	フジ郵送料	15,000	
保険料		10,000	
使用料・賃借料	会場使用料	5,000	2,300円×2回
外注費・委託費	フジ外注	41,000	3,000枚
対象経費計		163,000	
食糧費		0	
人件費	事務従事者賃金	72,000	1,500円×1時間×24日×2人
その他		0	
対象外経費計		72,000	
支出合計		235,000	(収入合計と一致)

※1: 団体会員への人件費及び旅費交通費は、協働事業部門のみ補助対象となり、対象経費の合計の1割を限度とする。

※2: 金額欄は切り上げて千円単位で記入する。

組織運営体制

団体名	NPO 法人移動サポートセンターかわせみ
ふりがな	えぬびーおーほうじんいどうさぽーとせんたーかわせみ
法人格 (○をつけてください)	任意団体 <u>NPO 法人</u> ・一般財団法人・一般社団法人・公益社団法人 公益財団法人・社会福祉法人・協同組合・その他 ()
CANPAN 登録の有無	有 ・ <u>無</u>

※CANPAN: 日本財団及び特定非営利法人 CANPAN センターが運営する、市民・NPO・企業などの活動を支援する WEB サイト

※以下の項目は、CANPAN に登録する情報と同等の内容です。登録済みの場合は、そちらを参照すると便利です。

※新規チャレンジコースに申し込む団体は、**情報のある項目のみ**記入してください。

1 組織体制

任意団体活動開始年月	2008年 10月 (西暦)	
法人格取得年月	2010年 8月 (西暦)	
事務所 所在地	倉敷市西中新田 620-1	
代表者	職・氏名	理事長 川瀬 道治
	電話番号	086-426-3107 (連絡可能時間帯 8:30~17:15)
ウェブサイト URL	http:// www.city.kurashiki.okayama.jp	
活動地域	倉敷市全域	
役員数・職員数計	8名 (役員 4名、職員 4名)	
設立年月	2008年 10月	
活動分野 (該当に○をする) (複数回答可)	子ども・青少年・ <u>障がい者</u> ・ <u>高齢者</u> 在日外国人・留学生・ <u>福祉</u> ・保健・医療・ 教育・学習支援 <u>地域</u> ・まちづくり・文化・芸術の振興・スポーツの振興・ 環境・エコロジー・災害救援・地域安全・人権・平和・国際協力・国際交流・ 男女共同参画・IT の推進・科学技術の振興・経済活動の活性化・起業支援・ 就労支援・労働問題・消費者保護・市民活動団体の支援・観光・農山漁村・中山間・ 助成活動・食・産業、漁業、林業・行政監視・情報公開・行政への政策提言・ 学術研究・その他 ()	
活動目的 (規約等に定めるもの)	高齢者や障がい者に対して、福祉移送サービス等を提供することにより、住み慣れた地域での高齢者や障がい者等の自立支援に寄与することを目的とする。	

(様式第4号)

設立以来の主な活動実績	2008年に団体を設立し、高齢者や障がい者の移動支援を行うため福祉有償運送事業を始めた。2014年には、施設送迎運転従事者の送迎時の交通事故等を防ぐためのスキルアップ研修を追加し、2017年からは、福祉有償運送で培ったノウハウや、移動サービスのネットワークを活かし、地域住民が行う移動サービスの立ち上げ支援や普及を行っている。
現在特に力を入れていること	現在は、住民主体の移動サービスをいかにして地域に浸透させていくかに注力している。

2 団体概要と財政状況

団体の活動・業務 (事業活動の概要)	<ul style="list-style-type: none">・福祉有償運送事業・施設送迎運転従事者スキルアップ研修・住民主体の移動サービスの立ち上げ支援と普及
今後の活動の方向性	今後5年以内に、住民主体の移動サービスを行う自治会等が、倉敷、児島、玉島、水島、真備、船穂でそれぞれ1つ以上活動を開始しているようにしたい。
最新決算総額 (該当に○をする)	100万円未満・ <u>100～500万円未満</u> ・500～1,000万円未満・1,000～5,000万円未満・5,000～1億円未満・1～5億円未満・5億円以上
定期刊行物	なし

3 活動概要と協働実績

助成金・補助金等の支援を受けた実績	倉敷市○○○○基金(平成25年度、平成26年度)
他NPO・市民活動団体との協働実績	NPO法人○○福祉移送と施設送迎運転従事者スキルアップ研修を協働で実施している。
企業・団体との協働実績	なし
行政との協働実績(委託事業など)	なし